

ロモーションに取り組んでいきたいと思いま  
す。

中村さん  
そうやって色々な人たちが参加して、一緒  
にまちを盛り上げていかないといけませんよ  
ね。私は川掃除から始めて、もうかれこれ  
30年以上が経ちますが、今では企業だけで  
なく多くの市民の皆さんも参加し、応援して  
くれています。



市長  
SDGsの実現に向けては、行政と民間企業、  
そしてさらには市民一人ひとりが連携し、一  
緒に取り組んでいく必要があります。そう  
いった意味でも、今回の取組は単に水辺に新  
たなコンテンツが加わったというだけでな  
く、ヤマハさんのような世界的企業から喜多  
機械産業さんのような地元企業、そして、こ  
れまで徳島市の市民活動をリードされている  
新町川を守る会さんのようなNPOといった、  
非常に幅広い主体が連携していることに大き  
な価値があると思います。

喜多さん  
私たちはこれまで太陽光パネルの販売・設  
置を行ってきましたが、近年では、使用済み  
パネルの廃棄が課題となっています。企業と  
して「作る責任」と「捨てる責任」の両方を  
果たすため、今あるものを効率的に使うこ  
とこそSDGsの理念に沿うと考え、太陽光パネ  
ルのリサイクルやリユース事業に力を入れて  
います。SDGsを自分事とし、一人ひとりの  
意識が変われば、よりよい未来につながると  
思います。



喜多機械産業株式会社  
代表取締役社長 喜多 真一  
1989年徳島生まれ。2013年にU  
ターンして喜多機械産業株式会  
社に入社。2021年代表取締役社  
長に就任。新規事業創出や人材育  
成、ダイバーシティ推進に取り組  
んでいる。

吉田さん  
私たちも今回のHARMO導入を契機とし  
て、徳島市さんと包括連携協定を締結させ  
ていただきましたので、これまでの取組をさ  
らに発展させるために、引き続き徳島の皆  
さんと共に歩んでいければと思います。環  
境に配慮した電動船が広がることで、より  
持続可能で快適な水辺の環境づくりが実  
現できると思いますので、今後、徳島市  
の水辺のまちづくりが全国のモデルケー  
スとして注目されることを期待しています。



市長  
皆さんにそうっていただいて本当に頼も  
しいです。今回の取組を契機として、さら  
に「水都とくしま」の魅力アップに取り組  
んでいきます。また、他の場面でも多くの企業

や市民の皆さんを巻き込みながら、一緒に地  
域課題の解決に取り組んでいきたいと思いま  
す。

中村さん  
まちづくりは私たち市民の行動にかかって  
いると思います。SDGsという理念は抽象的  
で、私たちには関係ないと思われがちです  
が、「自分にできることから始める」ことが何  
より大切です。そして、それを継続していく  
ことが重要です。市民の皆さんにもまずはこ  
のHARMO艇に乗ってもらい、まちの魅力を  
感じながら、少しだけSDGsについても考える  
きっかけにしてもらえたらと思います。



市長  
今日は本当にありがとうございました。こ  
れからも連携の輪がさらに広がっていくよ  
う、引き続きご協力をお願いいたします。



▲船上座談会では、ナイトクルーズや婚活イベントなど様々な活用アイデアが飛び交い、電動船ならではの静  
粛性に、「川の流れや水の音をよりはっきりと感じられる」との感想や感嘆の声が上がりました。中村代表は「徳  
島には今、多くの観光客が訪れています。海外から来られる方も増え、そういう方々にもこの船を体験してもら  
い、この船を活用することで、徳島の魅力がさらに高まると思う」と期待を述べました。

### 地方創生AWARDを受賞しました

「ひょうたん島周遊船の電動化に向けた実証実験」と「太陽光パネルのリユース実証実験」の取  
組が、地方創生SDGsの実現に向けた先進的な公民  
連携プロジェクトであると評価され、一般社団法  
人公民連携推進機構が実施した公民連携・地方創  
生AWARDにおいて、「先進的なSDGs部門」のグ  
ランプリをダブル受賞しました。



ひょうたん島周遊船の電  
動化に向けた実証実験



太陽光パネルのリユース  
実証実験

